

令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立 世知原小学校



佐世保市世知原町栗迎194番地1

校長 兼 正晴

学級数 8学級

児童数 100名

学校教育目標

世知原を愛し、心豊かで、たくましく生きる子どもを育成する
“「夢」と「笑顔」と「達成感」そして「充実感」を～ONE 世知原小学校”

めざす児童像

○笑顔いっぱい
(思いやりのある子)

○学びいっぱい
(自ら学ぶ子)

○元気いっぱい
(元気な子)

1 活動の目的

- (1) 確かな学力の育成
- (2) コミュニケーション能力の育成
- (3) ふるさと世知原を愛する心の育成



お茶摘み体験授業

2 実践内容

(1) 「確かな学力の育成」について

① 補充学習の充実と学習規律の定着を目指して

今年度は教科書の内容が改訂されたため、新しい教科書に準拠した「国語ワークシート集」「算数習熟度プリント集」を購入しました。日々の学習や朝の補充学習の時間「開知タイム」、家庭学習等に活用することができました。

また、ノートの取り方を徹底したり、自宅学習を奨励したりするなど、学習規律や指導方法などを校内で揃え、各学級で取り組みました。



朝の学習「開知タイム」

②学力調査の実施

12月に全学年で国語科と算数科の学力調査を実施し、12月までの既習事項に関して、どこまで身に付いているか確認をしました。調査の結果を生かし、次年度に向けて、各学年の弱点補強に取り組みました。

【成果】

- 練習問題の後や補充学習の時間に、主体的に学習に取り組む児童が増えてきました。また、家庭学習への継続的な取組も見られようになりました。
- 授業への集中力が見られるようになった学年では、12月の学力調査において、前年度よりも達成率が上がったところがあります。

(2)「コミュニケーション能力の育成」の育成について

①保育園との交流

「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため、例年、行ってきた地域の老人会や文化サークルとの交流は実施できませんでしたが、密にならないようにと、保育園との交流を屋外で行いました。イモの苗差しや焼きイモを行いました。保育園児と一緒にイモの苗差しを行ったり、「世知原少年自然の家」の職員の協力を得て焼きイモを行ったりしました。



②花いっぱい運動

1～6年生で編制される縦割り班で、「花いっぱい運動」に取り組みました。活動では、上級生が1年生に優しく苗の植え方を教えたり、重いプランターを運んだりする等、思いやりをもって、優しく接する姿が見られました。また、水やりをした後に、当番表にシールを貼る工夫をすると、意欲的に活動に取り組むことができました。



【成果】

- 小学生は保育園児に、上級生は下級生に、優しく接する姿が見られ、思いやりの心が育ってきています。
- お世話になった方々に感謝の気持ちを持ち、それを表現することができるようになっていきます。
- イモの栽培や植物のお世話を通して、命を大切にする態度が育ってきています。

(3) 「ふるさと世知原を愛する心の育成」について

①地域教材の活用

「新型コロナウイルス感染症」の影響で、校外での活動は制限されたが、地域の方々の協力を得て、活動に取り組むことができた。

3年生の総合的な学習の時間で行った「茶摘み・製茶体験」では、地元の製茶店の協力を得て、活動に取り組むことができた。地元の主産業である製茶の過程を知り、茶づくりに興味をもつことができた。また、その後、社会科の学習で、地元の物づくりの学習として、製茶工場を見学し、理解を深め、さらに愛着をもつことができた。

校外での活動は制限されたものの、生活科や社会科において、地域の教材化も進み、地域に根差した学習を展開することができた。子どもたちは改めて地域を見直し、興味をもって学習に取り組むことができた。

また、



②「世知原子ども浮立」への取組

40年以上続く、「世知原子ども浮立」への取組は、例年、「世知原くんち」の奉納として町内を練り歩く形であったが、「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため、町内での演技ができず、保護者を招待する形で、運動場で発表を行った。着物の着付けや道具の移動のために、40名程の保護者の皆様が手伝いをしてくださり、準備もスムーズに行うことができた。

また、これまでの功績が認められ、市より文化功労の賞をいただいた。今後も地域の伝統継承のために、これを糧にして進めていきたい。菓店の見学を行い、働いている人たちの思いを知りました。



運動場での「世知原子ども浮立」発表会



【成果】

- 学習を通して、自分たちが住む地域の産業や歴史、生活する人々等に興味をもち、世知原の特徴に気づくとともに、地域のよさを知り、愛着を深めることができました。
- 「子ども浮立」の活動を通して、自分たちが長い伝統を受け継いでいることや、地域の人たちとの関わりをもつことで、地域の人たちに見守られていることを自覚することができました。

～今年度の取組を振り返って～

「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため、制限がある中での活動となりました。しかし、地域やご家庭のご理解やご協力もあり、子どもたちは生き生きと活動に取り組むことができました。

子どもたちがはぐくんできた主体性を今後も伸ばすとともに、地域に根付いた活動に取り組む、「ふるさと世知原」を愛する子どもたちを育てていきます。